

事業番号	07 04 05	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	食品産業の活性化支援事業	部局	産業労働部	課・室	産業技術課	
		実施期間	H20 ～	E-mail	sangi @ pref.nagano.lg.jp	

1 現状と課題

- ・長期化するコロナ禍において、国内外で健康の維持や増進に役立つ機能を保持する機能性表示食品等への注目が集まっているとともに、食品ロスなどに対する社会的課題に対する取組が必要となっている。
- ・原材料・燃料の高騰により食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、製造業者同士が互いに製造技術や品質向上に向けた取組を強化し、「県産品のブランド力」を強める必要がある。

2 事業目的

- ・食品製造業振興ビジョン2.0に基づき、長寿県NAGANOの「からだに優しい食品」の創出・提供を核として、国内外の食市場で優位性を確保する食品製造業の実現を目指す。
- ・県内食品産業の各メーカーが品評会を通じて、製造技術や品質向上に向けた取組を進める。

3 事業目的を達成するための取組

- ①長野県食品製造業振興ビジョンの推進による新食品開発支援
- ・機能性表示食品等の高付加価値食品を推進するため、産学官連携によるプロジェクトを実施
 - ・国内外の食品トレンドに対応できる研究開発人材の育成を進めるため、食品製造や食品開発の専門家による講義を実施
 - ・県産発酵食品や加工食品の活用による新たな価値を創出を図るため、レシピコンクールの開催と情報発信を実施
- ②長野県を代表する食品の品質向上のため品評会開催
- ・本県を代表とする食品（清酒、みそ、そば、甘酒、豆腐、醤油）の製造技術や品質向上を目的とした品評会の開催
- ③食品ロス削減など社会的課題に向けた取組による新商品開発
- ・健康志向や安全性など世界基準に適合したサステナブルな食の需要に対応するため、フードテックの取組を推進
- ④発酵食品企業等との協働による「発酵・長寿NAGANOの食」の発信
- ・発酵・長寿県「NAGANO」の創出に向け、民間コンソーシアムと協働で県産発酵食品等の魅力発信イベントを実施することにより、「NAGANOの食」のブランド化と発酵食品企業等の稼ぐ力を向上させる。

4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし ―：数値なし）

No.	指標名	単位	R3年度	R4年度	R5年度	R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績 推移	実績 推移			
①	食品に係る研究開発人材の育成数	人	21	23 →	10 ↘	20	未達成	R4年度と同程度の研究開発人材を確保するため、R4年度見込値を目標値とする ※R5年度9・2月補正予算案及び令和4年度対象事業点検シートに記載したR4年度実績が誤っていたため修正しました（修正前：20及び21、修正後：23）
②	品評会参加事業者数	者	160	152 →	145 ↘	160	未達成	過去の実績に基づいた目標値とする ※R5年度9・2月補正予算案シートに記載したR4年度実績が見込値となっていたため修正しました（修正前：160、修正後：152）
③	フードテックに係る商品化の支援を受けた件数	件	-	- ―	14 ―	10	達成	商品化に向けた取組を支援するため、食品事業者からの相談対応による支援数10件を目標とする

5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 （★印が付いているものは主要目標）	単位	直近 3 か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★労働生産性(2020年度比)	%		－		－	2021 (R3)	5.2	2025 (R7)	11.2
2-1②	稼ぐ力とブランド力の向上	★加工食品の輸出額	億円	2020 (R2)	56.5	2021 (R3)	71.8	2022 (R4)	78.9	2027 (R9)	124
2-3②	サービス産業等の活力向上	しあわせ信州食品開発センターの支援による商品化件数（2023～2027年度 累計）	件		－		－	2023 (R5)	21	2025 (R7)	100

6 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計 （予算現額）	うち一般財源		
R5年度	0	999,489	79,624	1,079,113	15,091	306,096	1.5
R4年度	284,835	94,336	△ 65,400	313,771	11,474	312,186	1.5
R3年度	636,400	19,966	0	656,366	11,027	135,811	1.5

事業番号	07 04 05	事業改善シート（令和5年度実施事業分）	□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	食品産業の活性化支援事業		部局	産業労働部	課・室	産業技術課

7 主な取組実績と成果

①長野県食品製造業振興ビジョンの推進による新食品開発支援

- ・機能性食品等の高付加価値食品の創出を推進するため、産学官連携による「食」と「健康」ラボ研究会を通じ、新商品開発プロジェクトや、食品開発に係る先端技術の講演会を開催（新商品開発プロジェクト：5件、講演会：2回）
- ・国内外の食品トレンドを読み解き、新たな食品づくりができる研究開発人材の育成を目指し、信州大学と連携して「信州フードスペシャリスト育成プログラム」を実施（講義数：1コマ120分×60コマ、受講者数：10名）
- ・県産発酵食品の活用により新たな価値を創出するため、発酵レシピコンテストを開催し、「発酵・長寿」ポータルサイト等で広くPR（応募レシピ数：194品）

②長野県を代表する食品の品質向上のため品評会開催

- ・業界団体や工業技術総合センター食品技術部門と協力して、品評会を開催し、食品の製造技術力及び品質向上を推進。（品評会等開催：6回（清酒、みそ、信州そば、豆腐、甘酒、醤油）、品評会参加事業者数：145事業場）

③食品ロス削減など社会的課題に向けた取組による新商品開発

- ・フードテックを活用した新食品開発を推進するため、長野県産業振興機構に専門知識を有するコーディネーターを配置し、研究会の開催や企業からの相談などの取組を支援（研究会の開催4回、新商品開発相談支援件数：12件）
- ・加工原料の輸入農産物から国内産・県内産への転換を推進するため、新商品開発に係る経費を助成（支援事業者：2事業者）

④発酵食品企業等との協働による「発酵・長寿NAGANOの食」の発信

- ・「発酵・長寿NAGANOの食」の魅力等を広く発信し、ブランド価値の向上を図るため、民間コンソーシアムと協働で発酵食品の優位性や需要拡大に向けたイベント等を開催。（「発酵バレーNAGANO」キックオフイベントの開催：1回、産学官連携による新商品開発等に向けた検討会の開催：2回）

8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	食品に係る研究開発人材の育成数	R4年度推移	→	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
コロナ禍はWebでの講義を実施し、参加者は20人前後で推移していたが、令和5年度より対面を基本とする講義に変更したため、受講者数が目標値を下回った。							
指標②	品評会参加事業者数	R4年度推移	→	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
食品製造事業者の高齢化に加え、食品団体に加入する事業者の減少により、参加事業者が減少し目標値を下回った。							
指標③	フードテックに係る商品化の支援を受けた件数	R4年度推移	—	R5年度推移	—	達成状況	達成
県内食品企業のフードテックに係る課題解決を支援するため、コーディネーターの配置や新商品開発に向けた技術指導、専門家の紹介等を実施したことにより目標を達成。							

9 今後の事業の方向性

(1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・消費者の健康志向や環境問題等に対する意識の高まりにより、消費者ニーズは多様化している。また、海外においても、和食や発酵食品に対する関心が高まっており、「NAGANOの食」のブランド力や魅力向上、国内外への発信が喫緊の課題である。
- ・人口減少による国内需要の減少、原材料価格の高騰など、食品産業を取り巻く環境は厳しさを増している中、産学官連携による、フードテックを活用した新商品開発を進めるとともに、食品事業者の製造技術や品質向上に向けた取組を推進する。

(2) 事業改善の方策

- ・多様化する消費者ニーズに対応するため、マーケットインの発想による新商品開発に向けた支援を実施する。
- ・食品関係事業者や団体等と連携し、国内外で「NAGANOの食」の優位性を広く発信する。
- ・産学官の連携強化により、フードテック技術を活用した新商品開発や、専門パイヤーとの意見交換を通じ、食品製造技術や品質向上に向けた取組を実施する。

事業番号	07 04 05	細事業一覧（令和5年度実施事業分）			□当初要求	□当初予算案	□補正予算案	■点検
事業名	食品産業の活性化支援事業			部局	産業労働部	課・室	産業技術課	

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	「食」と「健康」ラボ機能形成事業費		15,565 千円	15,221 千円	14,456 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	信州フードスペシャリスト育成プログラム	委託	国内外のトレンドを読み解き、伝統技術を踏まえた新たな食品づくりができる研究開発人材の育成を大学と連携して実施（委託先：信州大学）		
			講義数：1コマ120分×60コマ 受講者数：10名		
2	研究会による新商品の研究開発プロジェクト	負担金	「食」と「健康」ラボ研究会による新商品開発プロジェクトの実施や食品開発に係る研究・講演会を開催（負担先：長野県食品製造業振興ビジョン推進協議会）		
			新商品開発企業件数：5件		
3	食品関係認証取得支援事業	委託	新食品開発スペシャルアドバイザーを配置し、消費者ニーズに合った新たな食品開発を支援（委託先：（一社）長野県食品工業協会）		
			相談支援件数：12件		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	「発酵・長寿」ブランド形成事業		1,745 千円	3,705 千円	5,516 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	県産発酵・伝統食品を活用した新食習慣の発信	委託	県産発酵・伝統食品への理解を深めてもらうため、簡単・時短、栄養バランスの取れたレシピの開発及びレシピ動画を作成し、HPにて発信（委託先：広告代理店等） 新規レシピ掲載数：4件		
2	「発酵・長寿」プロモーション事業	委託	全国発酵食品サミット等へ出展し、県内食品企業が得意とする発酵技術や伝統技術を駆使した食品を全国に発信（委託先：（一社）長野県食品工業協会） 食品展示即売への出展回数：1回		
3	「発酵・長寿NAGANOの食」発信事業	負担金	県産発酵食品の魅力等を広く発信し、ブランド価値の向上を図るため、民間コンソーシアムと協働で発酵食品の優位性や需要拡大に向けたイベントを開催する。また、発酵食品企業間のコラボレーションによる新商品開発に向けた検討を行う。 イベント開催：1回、産学官連携による新商品開発等に向けた検討会の開催：2回		

細事業 No.	細事業名		R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
3	食品産業技術高度化推進事業		615 千円	425 千円	1,602 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）		
1	品評会等の開催	直接	本県を代表する食品（清酒・みそ・甘酒・そば・豆腐・醤油）の製造技術力及び品質向上を図るため、関係団体と共催で品評会等を実施		
			品評会開催回数：6回		

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
4	食品産業の輸出向けHACCP等対応整備支援事業	117,886 千円	292,835 千円	275,433 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	食品産業輸出向けHACCP等対応施設整備事業補助金	補助金	食品製造事業者等の海外展開を推進するため、輸出先国等の規制や条件に対応した施設の新設及び改修、機器の整備等に係る経費を助成 事業実施：1件、275,433千円	
2	輸出事業計画策定等の支援	補助金	食品事業者の輸出産地形成を具体的に進めるための輸出事業計画策定等に係る経費を助成 補助対象者：0 事業実施なし	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
5	グローバルな「NAGANOの食」価値向上推進事業	－ 千円	－ 千円	9,089 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	サステナブルな「信州フードテック」転換支援	委託	食品事業者における食品のアップサイクル等の新商品開発などへの転換を支援するため、コーディネータを設置 セミナーの開催：4回	
2	サーキュラフード（ＣＦ）ビジネスの促進事業補助金	補助金	県産農畜水産物の食品加工適応性について試作研究・評価等し、販路開拓に必要な経費を助成 事業実施：2件、829千円	
3	グローバルな「NAGANOの食」ブランド化支援	委託	輸出相手国のニーズ・規制に適合したマーケットインによる食品開発に係るＰＲ・需要調査等を実施 セミナー等の開催：5回、輸出検討食品の試食評価：5品目	